デザイナーのためのiPhoneアプリUI/UX設計

iOS Dev Centerでの登録手順

ドキュメントの内容

本ドキュメントは、4月下旬に変更されたiOS Dev Centerにおける登録手順を解説 するものです。以下の内容が含まれていますので、本書の該当個所を実践する際に参照 してください。通し番号は振り直しており、本書とは一致していません。

開発用の証明書とプロファイルの入手まで

本ドキュメントの「開発用の証明書を作成する(P1)」から「開発用プロビジョニングプ ロファイルの作成(P7)」までが、本書のP190~196に該当します。

公開用の証明書とプロファイルの入手まで

本ドキュメントの「公開用の証明書を作成する(P8)」から「公開用のプロビジョニング プロファイルを作成する(P10)」までが、本書のP202~204に該当します。

開発用の証明書を作成する

iOS Provisioning Portalを開く

iOS Dev Centerにサインインしたら、「Certificates, Identifiers & Profiles」を選びます(図1)。

É Developer	Technologies	Resources	Programs	Support	Member Cer	nter Q, Search Dev	veloper
iOS Dev Center	r			iOS	Dev Center	Mac Dev Center	Safari Dev Center
Development Resources					Hi, I	Manabu Ohashi 🛛 M iOS Develope	r Program
Resources for iOS 6		Featured Content			Certificates, Iden	tifiers & Profiles 🏾 🕥	
Downloads		Create Ap	ps for iOS 6			iTunes Connect	Ø

図1 アプリケーションを実機で動かす際に、必要となるファイルを取得するページに移動する

開発用の証明書を作成する

2「Certificates」をクリックします(図2)。



🗴 Developer	Technologies Resources	Programs	Support Member Center	Q Search Developer
Certificates, Identifiers &	Profiles			Manaba 3 ni 🗸
iOS Apps 👻	iOS Certificates			(+) Q
Certificates	3 Certificates Total			
■ All	Name		Туре	Expires
Panding				

```
図3 証明書を新たに作成する
```

(3)[+」ボタンをクリックします(図3)

④開発用なので、「Development」の「iOS App Development」を選択します(図4)。
 ⑤「Continue」をクリックします。





⑥次の画面は証明書に関する説明が書かれています。内容に目を通してから「Continue」をクリックします(図5)。



図5 作成した証明書の登録に関する解説画面

 ⑦「Choose File」をクリックして、保存しておいた証明書要求(CertificateSigning Request.certSigningRequest)を選びます(図6)。

8「Generate」をクリックします。



図6 証明書要求をアップロードして署名してもらう

⑨少し待つと証明書が作成されて画面の表示が変わるので、「Download」をクリックして証明書をMacにダウンロードします(図7)。



🗵7) 証明書をダウンロード

(1)ダウンロードが済んだら、ダウンロードした**証明書**^{*1}ファイルをダブルクリックしま す。するとキーチェーンアクセスが起動して、証明書が登録されます。 *1

クリックしてダウンロードした場合、 「ダウンロード」フォルダーに「ios_ development.cer」というファイル 名で保存されている

デバイスの登録

デバイスのUDIDを調べる

iPhoneをMacにつなぐと、iTunesが起動します。左側のメニュー^{*2}の「デバイス」から、つないだiPhoneを選択します(図8)。

2「概要」の「シリアル番号」をクリックします。

③すると「識別子(UDID)」が表示されます。この状態で[command]キーを押したまま
 [C]キーを押すと、UDIDがクリップボードにコピーされます(図9)。



デバイスを登録する

④証明書を作成したときと同じ画面(図7)にアクセスし、「Devices」をクリック³³します。

5 画面が「Add iOS Devices」に切り替わるので、「+」をクリックします(図10)。

⑥デバイスを1台登録^{*4}するときは「Register Device」をチェックします。

⑦「Name」には、「AさんのiPhone」や「○○部開発用iPhone2」などと、わかりやすい名前を入力します。「UDID」には、先ほどクリップボードにコピーしたUDIDを[comm and]キーを押したまま[V]キーを押して張り付けます。

(8)「Continue」をクリックします。



4



*2

iTunes画面の左側にメニューが表

示されていない場合は、「表示>サ イドバーを表示」を選ぶ

サインインし直した場合は、「Certi ficates, Identifiers & Profiles」画 面へ進んでから「Devices」をクリッ クして直接アクセスする(下図)



*4 デバイスは100台まで登録できる

図10 登録するデバイスを設定する

⑨次の画面で登録する内容を確認して「Register」をクリックします(図11)。デバイ スの登録が完了すると画面が変わり、「Registration complete.」と表示されます。

Review and register.	
onfirm the device information is correct. Once this device is registered, you e dit the UDID and can only edit the name or disable it.	ı will not be able
Name: UDID:	
9	
	Review and register.

App IDの作成

 ①引き続き作業します。画面左側のメニューから「Identifiers」をクリックし、右上の「+」をクリックして「Name」に「wildcard^{*5}」と入力します。「Bundle ID」に半角の アスタリスク1文字^{*6}「*」を入力してワイルドカードに設定し、ほかの設定項目は変 更せずに「Continue」をクリックします(図12)。



5

*5

自分がわかる名前であれば何でも 構わない。App IDは一度作ったら 消すことができないので、あとから 変更しなくてもすむような名前にす る

*6

アスタリスク1文字で、すべてのアプ リケーションを表すことができる。こ れをワイルドカードと呼び、トラン プのジョーカーのように万能な カードを表す言葉として使われる。 初めての開発であれば、証明書、 Device、App IDをひも付ける作業 が簡単なワイルドカードApp IDを 使うとよい

図12 App IDを設定する

*7

11)設定内容^{*7}を確認し、「Submit」をクリックしてApp IDを登録します(図13)。

「Disabled」になっている機能は特 定のApp IDを使うため、ワイルド É Developer Technologies Resources Programs Support Member Center Q Search Developer カードを使う今回の手順では設定 しない。詳細を知りたい場合は下 Certificates, Identifiers & Profiles Manabu Ohashi 🔻 記のURLで「iOSチーム管理ガイ ド」を参照するとよい Add iOS App ID + 🔊 🔍 iOS Apps * https://developer.apple.com/jp/ devcenter/ios/librarv/document Certificates ۲ ation/DevPortalGuide.pdf Devices 0 ■ All App ID Description: wildcards Provisioning Profiles O Identifier: KBX9X3F825.* Data Protection:

Disabled Development Game Center:

Disabled Distribution iCloud: © Disabled In-App Purchase:

Disabled Passbook:

Disabled 図13 Cancel Back App IDを登録する

開発用プロビジョニングプロファイルの作成

12引き続き作業します。画面左側のメニューから「Provisioning Profiles」を選び、 「+」をクリックしてプロファイルを作成します。

(13)開発用なので、「Development」の「iOS App Development」をチェックします。

14「Continue」をクリックします(図14)。

(15)次の画面でApp IDを設定します。ここでは、前項でワイルドカードとして設定した
 「Wildcard」を選択して、「Continue」をクリックします。(図15)。



6

16先ほど取得した証明書を選択して「Continue」をクリックします(図16)。

(1)インストールするデバイスにチェックを入れ、「Continue」をクリックします(図17)。

(18)「Profile Name」で名前を設定¹⁸して「Generate」をクリックします(図18)。

(19)少し待つとプロビジョニングプロファイルが作成されて画面の表示が変わるので、 「Download」をクリックしてMacにダウンロードします(図19)。

名前は何でも構わない。ここでは 「wildcard」とした

*8

図18 プロファイルの名前を設定する

20 ダウンロードしたプロビジョニングプロファイル⁵⁹をダブルクリックすると、Xcode が起動してOrganizerに登録されます。

「ダウンロード」フォルダーに拡張子 「.mobileprovision」が付いたファ イル名で保存されている

以上でアプリケーションを実機ヘインストールする準備が整いました。実機にインス トールする手順は、本書のP196以降を参照してください。

公開用の証明書を作成する

Webブラウザーで「Certificates, Identifiers & Profiles」画面へアクセスして「Certificates」を選び、右上の「+」をクリックして「App Store and Ad Hoc」を選び、「Continue」をクリックします(図20)。次に表示される、証明書のキーチェーンアクセスへの登録に関する説明画面では、内容に目を通してから「Continue」をクリックします。

iOS Apps	✓ Add iOS Certificate	
© Certificates	Select Type Request Generate Download	
AllPendingDevelopment	What type of certificate do you need?	
	Distribution	
	App Store and Ad Hoc Sign your iOS app for submission to the App Store or for Ad Hoc distribution	on.
	 Apple Push Notification service SSL (Production) Establish connectivity between your notification server and the Apple Push production environment. A separate certificate is required for each app yo 	Notification service u distribute.
	Pass Type ID Certificate	
	Sign and send updates to passes in Passbook.	

図20 公開用証明書を新たに作成する

②証明書を生成する画面では、「Choose File」をクリックして開発用証明書を作成したときに使った証明書要求を選び、「Generate」をクリックします(図21)。

8

図21 証明書要求をアップロードする

③少し待つと証明書が生成されて画面の表示が変わるので、「Download」をクリックしてMacにダウンロードします(図22)。

🗴 Developer	Technologies Resources Programs Support Member Center Q Search	n Developer
Certificates, Identifiers &	Profiles	Manabu Ohashi 🔻
iOS Apps 👻	Add iOS Certificate	+ 9
Certificates	Select Type Request Generate Download	
All Pending Development Sistribution	Your certificate is ready.	
■ All		
Provisioning Profiles All Development Distribution	Name: iOS Distribution: Oha-besign Office inc. Type: IOS Distribution Expires: 4 22, 2014	
	Documentation For more information on using and managing your certificates read: App Distribution Guide	
	Add Another Done	

図22 証明書をダウンロードする

④ダウンロードした証明書*10ファイルをダブルクリックして、キーチェーンアクセス に登録します。 *10

クリックしてダウンロードした場合、 「ダウンロード」フォルダーに「ios_ distribution.cer」というファイル名 で保存されている

公開用のプロビジョニングプロファイルを作成する

 ⑤引き続き作業します。画面左側のメニューから「Provisioning Profiles」を選び、 右上の「+」をクリックして「App Store」を選んだら「Continue」をクリックします (図23)。

⑥次のApp IDの選択画面では、App IDとして使い回せるように作成したワイルドカー ドを選んで、「Continue」をクリックします(図24)。

(7)証明書の選択画面で証明書を選択して「Continue」をクリックします(図25)。

(8)「Profile Name」に適切な名前*11を付け、「Generate」をクリックします(図26)。

 ・少し待つとプロビジョニングプロファイルが生成されて画面の表示が変わります。
 「Download」をクリックして、公開用のプロビジョニングプロファイルをMacにダウンロードします(図27)。

使用できる文字はアルファベットと 数字のみ。ここでは、「Profile Na me」を「wildcard for appstore」と した

*11

⑥ダウンロードしたプロビジョニングプロファイル^{*12}をダブルクリックして、XcodeのOrganizerに登録します。

*12 クリックしてダウンロードした場合、 「ダウンロード」フォルダーに 「wildcard for appstore. mobile provision」というファイル名で保存 されている

以上で、アプリケーションをiTunes Connectで申請する準備が整いました。申請 手順は、本書の204ページ以降を参照してください。

10